【特別の教科　道徳　指導略案】　　授業者　左畑　勝啓

1　場所・単元名　　1年1組　教室　「ええところ」(使用教科書：東京書籍)

2　内容項目・教材と評価の計画(全1時間)

内容項目A　主として自分自身に関すること	④個性の伸長
ねらい	自分の特徴に気づき、長所を大切にしようとする心情を育てる。(第1学年及び第2学年)
主体的に学習に取り組む態度	①自分のよさについて考えようとしている。

	内容項目A　主として自分自身に関すること　教材一覧と評価一覧	
善悪の判断・自律・自由と責任	18　ダメ	(態①)
	31　それっておかしいよ	(態①)
正直・誠実	23　どんぐり	(態①)
節度・節制	4　きもちがよいのは？	(態①)
	6　きをつけて	(態①)
	21　かぼちゃのつる	(態①)
個性の伸長	1　わたしのすきなこと	(態①)
	26　ええところ　(本時)	(態①)
希望と勇気・努力と強い意志	9　うかんだ　うかんだ	(態①)
	17　こぐまのらっぱ	(態①)

3　「遊び活動」と「教科学習」のつながりを意図した本時のポイント(10の姿をもとに)



9「言葉による伝え合い」をもつ姿から、特別の教科道徳を学習する姿へのつながり

[環境(教材)づくりと、援助の視点]

・自由遊びやごっこあそび、話し合いなどを通して育まれる、友だちと関わる力や相手の気持ちを考える力、自分の思いを伝える力が、今回の学習の土台となっている。
・子どもたちの生活体験や実態、幼児期の遊びや友だちとの関わりを生かし、自分事として考えることができるように発問を工夫する。
・一人ひとりの考えを受け止め、安心して自分の思いを表現できる雰囲気を作る。
・幼児期に育まれた主体性や対話する力を生かし、子ども同士の対話を促しながら、多面的多角的に考えを深められるように支援する。

4　本時の目標と学習過程　第１時(１/１)「ええところ」

◎自分の特徴に気づき、長所を大切にする心情を育てる。

時間(分)	主な学習活動	「環境(教材)づくり」と「援助」の視点・評価
20	○幼児期の遊びの経験から、自分の「ええところ」を想起する。 例　おにごっこ→走ることが好き(自分事) 工作→絵を描くことや物を作ることが好き(自分事)  自分の良いところを大切にしよう ○教師の範読を聞く 私にも、「ええところ」があった！ やっと「ええところ」がみつかったのに。私の「ええところ」がなくなってしまった。 私の「ええところ」をまたみつけてくれた。私には、ほかにも「ええところ」があるんだ！	年長さんの時にどんな遊びが好きだったかな。 幼児期の遊び活動 ⇒ 小学校の教科学習 「ごっこあそび」「自由遊び」を通して、自分の気持ちや思いを相手に伝える姿 / 自分の個性について考え、自分の良さを見つける姿や、相手の良さを考え伝える姿 次の日の朝、「手があたたかい」という「ええところ」を見つけてくれたともちゃんの様子と、みんなの反応から、あいちゃんの気持ちを考えさせる。 ともちゃんが「ええところ」を見つけてくれて、みんなが手をつなぎに来てくれたとき、あいちゃんはどんな気持ちだったでしょう。 そっと、ともちゃんの手を離した時の、あいちゃんの気持ちを考えさせる。 ともちゃんに「手がつめたい」と言われた時、あいちゃんはどんな気持ちになったでしょう。 ともちゃんが手を握って話してくれたときの、あいちゃんの気持ちを考えさせる。 ともちゃんが一番ええところを見つけてくれた時、あいちゃんはどんな気持ちになったでしょう。
15	友だちの「ええところ」をカードに書き、お互いに渡しに行く。 ・○○くんのいいところは、だれにでも優しいところだ！ ・○○さんはいつも最後まで掃除を頑張っているよ！	友だちの「ええところ」をさがしましょう。 **[環境(教材)づくり・援助]** 子どもたちの生活体験や実態、幼児期の遊びや友だちとの関わりを生かし、自分事として考えることができるようにする。 一人ひとりの考えを受け止め、安心して自分の思いを表現できる雰囲気を作る。
10	○振り返り 自分の「ええところ」を考える。 ・僕の「ええところ」は、困っている友だちに声をかけることができるところだ！ ・いつも元気に挨拶をしていたけれど、これが私の「ええところ」だったんだ！	自分の「ええところ」に新しく気付くことができたね。